

展示会場内での注意事項

会場内では複数ブースがブレーカーを共有しています。万が一、自社ブース内で配線間違いやタコ足配線による容量オーバーが発生した場合、周辺ブースへの電気供給が全てストップしてしまいます。コンセントの接続は正しく行ってください。

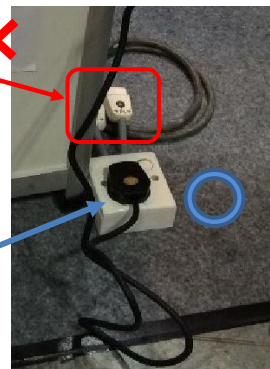
《禁止事項》

1. 延長コードの使用
2. タコ足配線
3. 日本専用品家電を変圧器を使わず使用すること
4. 間違ったタップへのコンセント差込



ここには絶対に
差し込まないでください！

コンセント差込口



※特殊コンセントの調理家電をレンタルする場合は、専用の電源をお申し込みください。



プラグとコンセントの形状

海外の差し込みコンセントは穴の形状が日本と異なり差し込めません。それぞれの国に対応したアダプタープラグが必要です。

日本はAタイプのプラグですが、世界には下記の8タイプのプラグがあります。

※シンガポールはB3型、BF型の2種類です。



※ BタイプとCタイプのプラグ形状（ピンの太さ）は異なります。

→Bタイプのピンの太さ：5mm

→Cタイプのピンの太さ：4mm

海外電源プラグ・変換アダプター例

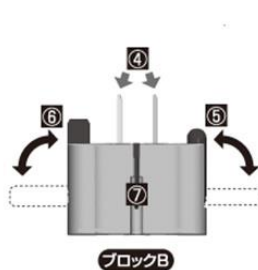
BF型対応プラグ

マルチ変換プラグ



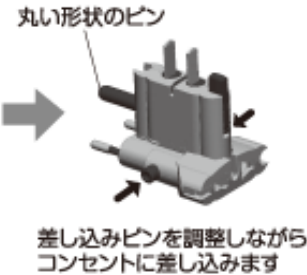
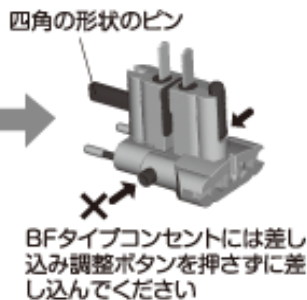
※ブース内でのタコ足配線、及び延長コードの使用は禁止されております。

マルチ変換プラグ



BF組み立て方

B3組み立て方



電圧について

日本	100Vボルト	世界で一番低い電圧です。	50～60Hz
シンガポール	200～240V	230Vが一般的です。	50Hz

変圧器ご購入の前に

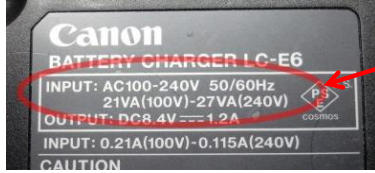
まずお使いになる電化製品が、**(1) 海外使用対応製品** **(2) 国内使用限定製品** のどちらなのかをご確認ください。

1. 海外使用対応製品の場合

使用可能電圧がAC100-240Vの製品は日本国内のみならず、海外でも変圧器を通すことなく使用できます。

使用可能電圧は本体の定格表示シールや説明書の製品仕様欄に記載されています。

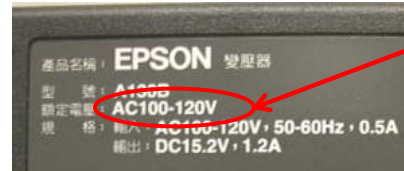
ただし、製品をご使用になる地域によって、別途電源変換プラグが必要です。



INPUT: 100～240Vと書かれていればグローバル対応なので、変圧器は不要です。
100Vから240Vまで対応可能

2. 国内使用限定製品の場合

電源変換プラグ、変圧器が必要です。



100Vから120Vまで対応可能

※ 変圧器では電源周波数（東日本：50Hz、西日本：60Hz）の変換はできません。

- 電圧を変換するには、電源変換プラグ、変圧器の二つが必要です。その際は、必ず変圧器の容量と電化製品の消費電力をご確認ください。上記を怠ると電化製品が発火することもあり、非常に危険です。
- 炊飯器やポットなどのマイコン機能付き家電製品は、変圧器を使用した場合でも不具合が生じる場合があります。予めご注意ください。
- 日本で海外の家電製品を使用する場合、対応周波数が異なる機器をご使用になると十分に性能を発揮できないばかりか、故障の原因となる場合があります。

変圧器（トラベルコンバーター）には3つタイプがあります。

日本の家電製品を海外で使う場合と、海外の家電製品を日本で使う場合とそれぞれ異なったタイプの変圧器を使う必要があります。

※ 電圧切替が付いている海外対応の家電製品には必要ありません。

海外で日本の家電製品をご使用になる場合：「ダウントランス」

日本国内でご使用の家電製品（100V仕様）を外国（120V～240V電源）で使用するには、現地の電源電圧を100Vに下げる**ステップダウントランス**が必要です。

日本で海外の家電製品をご使用になる場合：「アップトランス」

海外家電製品（120V～240V）を日本国内（100V電源）で使用するには、国内の電源電圧を製品仕様の電圧まで引き上げる**ステップアップトランス**が必要です。

変圧器の容量範囲内（消費電力=W：ワット数）でご使用ください。

変圧器の容量は、少なくともそれに接続して使用する家電製品の消費電力のプラス20%を基準に、余裕を持った容量のものをお選びください。

また、総消費電力量が変圧器の容量を越えなければ複数の家電製品をタップなどでつないで同時に使うこともできます。

地域	国	プラグタイプ	変換プラグ	電圧	変圧器	周波数
アジア	モンゴル	B, B3, C	必要	220V	必要	50Hz
アジア	韓国	C, SE, A	必要	220V	必要	50Hz
アジア	香港	BF	必要	220V	必要	50Hz
アジア	台湾	A	不要	110V	必要	60Hz
アジア	中国	B, C, O	必要	220V	必要	50Hz
東南アジア	インドネシア	C	必要	220V	必要	50Hz
東南アジア	カンボジア	A, C	必要	220V	必要	50Hz
東南アジア	シンガポール	BF, B3	必要	230V	必要	50Hz
東南アジア	タイ	A	不要	220V	必要	50Hz
東南アジア	フィリピン	A, C, O	必要	220V	必要	60Hz
東南アジア	ブルネイ	BF	必要	230V	必要	50Hz
東南アジア	ベトナム	A, C	必要	220V	必要	50Hz
東南アジア	マレーシア	BF	必要	220V	必要	50Hz
東南アジア	ミャンマー	B, B3	必要	220～240V	必要	50Hz
東南アジア	ラオス	A, C	必要	220V	必要	50Hz
南アジア	インド	B, B3, BF, C, SE	必要	115V, 230V, 240V	必要	50Hz
南アジア	スリランカ	B, B3, BF, C	必要	230V	必要	50Hz
南アジア	ネパール	A, B, B3, BF, C, SE	必要	115V, 220V	必要	50Hz
南アジア	パキスタン	A, B, B3, C	必要	110V, 230V	必要	50Hz
南アジア	バングラデシュ	B, B3, C	必要	230V	必要	50Hz
南アジア	ブータン	C	必要	230V	必要	50Hz
南アジア	モルディブ	B	必要	220V	必要	50Hz